

プラスチック一括回収に関するサウンディング型市場調査の結果について

本市では、プラスチック資源循環に向けた取組として、家庭から排出されるプラスチック容器包装廃棄物及びプラスチック使用製品廃棄物の一括回収及び資源化の実施について検討しております。

この度、事業手法やスケジュール等の詳細設計に役立てるため、民間事業者の皆様からの御提案を幅広くお聞きする「サウンディング型市場調査」を実施しましたので、調査結果の概要を公表します。

1 経過

実施要領の公表	令和7年1月20日（月）
調査参加申込期限	令和7年2月 4日（火）
調査の実施	令和7年2月 7日（金）～2月14日（金）

2 調査内容

- （1） 受け入れ可能な基準
- （2） 受入可能量（最大、最小）
- （3） 受入条件（荷姿、搬入条件、搬入方法等）
- （4） 受入開始時期
- （5） 受入場所
- （6） 中間処理又は再商品化の工程及び手法
- （7） 中間処理又は再商品化に要する概算費用（1トンあたり税抜き金額）
- （8） 処理工程における環境負荷軽減の効果
- （9） 事業化の条件

3 調査結果

- （1） 参加申込者数 8グループ
- （2） 調査方法 対面調査
- （3） 結果概要

容器包装リサイクル法に基づく指定法人に委託する場合と再商品化計画の認定による場合の2つの手法について提案があり、各グループから次の情報の提供がありました。

調査内容	提供を受けた主な情報
受け入れ可能な基準	・プラスチック容器包装廃棄物及びプラスチック使用製品廃棄物の一括搬入に対応 ・環境省令に定める分別基準及び公益財団法人日本容器包装リサイクル協会の設定した引取り品質ガイドラインに適合またはこれに準じた品質 ※一部のグループで独自ルールについての提案あり。
受入可能量（最大、最小）	・年間 5, 0 0 0 トン～3 0, 0 0 0 トン ※一部のグループで本市想定量を下回る提案あり。
受入条件（荷姿、搬入条件、搬入方法等）	・ビニール袋詰め ・収集物のベール品 ・パッカー車による搬入 等 ※各グループの施設構成により受入条件が異なる。
受入開始時期	・令和 7 年度～令和 1 0 年度の開始時期の提案 ※各グループにより対応可能時期が異なる。
受入場所	・中間処理・再商品化施設の設置、設備の新設 ・既存中間処理・再商品化施設の活用、設備増強 ※各グループにより受け入れ施設の設備等は異なる。
中間処理又は再商品化の工程及び手法	・選別、梱包、保管 ・マテリアルリサイクル ・ケミカルリサイクル ※事業手法により処理工程等が異なる。
中間処理又は再商品化に要する概算費用（1 トンあたり税抜き金額）	・想定金額について各グループから提案あり。
処理工程における環境負荷軽減の効果	・マテリアルリサイクル及びケミカルリサイクルの工程における、効率的な再資源化 ・工場稼働における、再生可能エネルギーの使用及びエネルギー使用量の削減 ・再商品化により、C O 2 発生量削減効果が見込める 等
事業化の条件	・採算性から、まとまった量の受入れが必要 ・長期の委託期間を希望する。 等

【問合せ先】

倉敷市環境局資源循環部資源循環推進課
 〒710-8565 倉敷市西中新田 6 4 0 番地
 電 話：(086)426-3375
 メール：gwst@city.kurashiki.okayama.jp